

EIKO UPRESS (人+人+人)×情報=∞



103万円の壁が150万円の壁に!? 正しく知りたい「配偶者控除」

平成29年度税制改正により、配偶者控除及び配偶者特別控除の見直しが行われ、平成30年分より適用されます。ここでは便宜上、主たる生計維持者を夫(会社員)、配偶者を妻(パートタイマー)と設定して説明します。

平成29年までは、妻の年収が103万円以下であった場合、配偶者控除により夫の所得から38万円が控除され、税金面で優遇されました。しかし妻の年収が103万円を超えると、配偶者特別控除により夫の控除額が段階的に減額され、夫の「扶養になるか、ならないか」の壁、つまり「103万円の壁」が存在し、無理に時間を調整して103万円以下の範囲内で働いていた人も多かったのです。

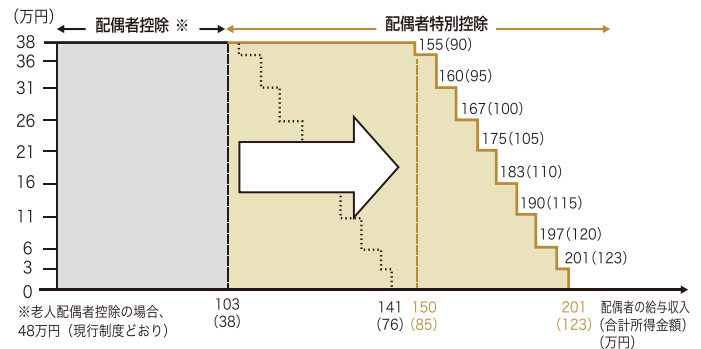
改正後は、38万円の控除が受けられる給与収入上限が「150万円」になるため、これまで「もっと働きたい」と思いつつも103万円以下の範囲内で働いていた人が、今まで以上に働いて収入を増やすことができるようになり、家庭においては収入確保、企業においては人材確保の面でプラスになる可能性が高まります。妻の収入

が150万円までであれば夫はこれまでと同じ38万円の控除を受けられ、夫自身の所得税が軽減されます(逆に、夫の年収が1220万円を超えると控除対象外となります)。しかしながら、今回の改正を受けて妻が150万円まで働くと、その前にある社会保険の「130万円の壁」を超えてしまうことになり、社会保険に加入してでも所得を増やす方がいいのかどうかを選択しなければなりません。また、家計全体の手取りを減らさないためには、住んでいる地域の住民税(市・県民税)がいくらなのかを把握した上で、新たな働き方を慎重に検討する必要があります。

※所得税や配偶者控除(配偶者特別控除)の詳細情報については、国税庁ホームページをご覧ください。

[国税庁](#) [検索](#)

例:納税者(ここでは会社員の夫)の給与収入が1120万円以下の場合(合計所得金額が900万円以下の場合)



ポイント!

平成30年からパートの時間を増やそうとしている人には、「『130万円の壁』に注意して、この壁を超えないようにする」「社会保険料や住民税を差し引いても家計全体の手取りが増えるような働き方にする」などの選択肢があります。働く人も、雇用する側も、これを機会に正しい情報を理解するように努めたいものです。



ご存知ですか? 意外に身近なWEB広告

近年のスマートフォンの普及率は凄まじく、20~30代の利用率が9割を超え、全年代での利用率も7割を超えました。(※総務省:『情報通信メディアの利用時間と情報行動』より)

今やスマートフォンやPCでインターネットを利用しない日はないという方がほとんどではないでしょうか。インターネットの浸透により、多くの企業が情報を配信するためにWEB広告(イン

ターネット広告)を重視するようになってきました。メディアとしての価値が高まったことや、他のメディアにはないさまざまな手法による広告が開発されており、WEB広告市場は成長を続けています。

皆さんも日常的に目にしたり、気づかないうちに利用しているかもしれませんね。ここでは代表的な『WEB広告』をご紹介します。

◆検索連動型のリスティング広告

リスティング広告は、インターネットで検索した際に、その検索ワードをもとに検索結果画面に広告を表示させます。興味・関心のあるユーザー(顕在顧客)を対象に広告を出すため訴求力が高く、ターゲットを絞りコストを抑えることができるため、費用対効果が高くなるという利点があります。

◆コンテンツ連動型のディスプレイ広告

ディスプレイ広告はYahoo!などの広告の掲載枠があるサイトや、YouTubeなどの動画サイトに広告費用を支払い表示する広告のことです。自社の商品やサービスに気付いて欲しいユーザー(潜在顧客)に向けて幅広くアピールすることができます。また年齢や性別、場所や時間帯のほか、趣味や興味のカテゴリなど多彩なターゲット選択が可能のため、プロモーションの目的に合わせてターゲットを選ぶことができます。

リスティング広告



ディスプレイ広告



WEB広告のご相談は鹿児島映広まで【Yahoo!JAPAN正規代理店】

YAHOO! JAPAN マーケティングソリューション
パートナー

薩摩の軌跡

Satsuma's locus

150年を振り返って

大正～終戦までの主な出来事

1912 (明治45年) 県立図書館設立
鴨池動物園開園

1914 (大正3年) 第一次世界大戦
桜島大正噴火

1920 (大正9年) 大正デモクラシー

1923 (大正12年) 関東大震災

1925 (大正14年) NHKラジオ放送開始

1929 (昭和4年) 世界恐慌
南薩鉄道全通

1932 (昭和7年) 5・15事件
日豊本線全通
鹿児島市鴨池地区に鹿児島市営水陸両用飛行場が建設

1933 (昭和8年) 国連脱退

1935 (昭和10年) NHK
鹿児島放送局開設

1937 (昭和12年) 日中戦争

1941 (昭和16年) 太平洋戦争
真珠湾攻撃

1942 (昭和17年) 知覧陸軍飛行場完成

1945 (昭和20年) 終戦

今年、2018年は明治維新から150年という節目を迎えます。我等が薩摩藩はその改革に大きく貢献し、現代日本を創ったと言っても過言ではありません。そこで鹿児島県が歩んだ150年を様々な視点から振り返ってみたいと思います。

今年は鹿児島が舞台の大河ドラマも放映され、多くの観光客も見込まれています。これを機会に鹿児島の歴史・文化など知識をもっと深めましょう!

第三回 大正から終戦まで

1912 (明治45年) 鴨池動物園開園

大正元年(1912)の暮れ、鹿児島電気軌道が武之橋～谷山間に電車を走らせた。利用客の増加を狙って大正5年(1916)、「鴨池動物園」を開園。東京、京都、大阪に次いで日本で四番目の早さです。正門右手が動物園。当初はサル・オウム・九官鳥ぐらいしかいませんでしたが、徐々にゾウなどの大型動物が加わりました。園舎のほか、煙突の外周を利用した滑り台やシーソーなどの遊具も。左手は遊園地で、半分をポート池が占め、その周囲を一周する子供用の汽車、野外劇場や小さな水族館もありました。昭和3年(1928)、鹿児島市が鹿児島電軌を買収すると、動物園も市の所管に移ります。鴨池動物園前電停は高架駅で、園内の土手上を線路

が通っていたそう。昭和47年(1972)に、環境の悪化や敷地の狭さを理由に平川へ移転。その名残は、鴨池イオン敷地内の動物ブロンズ像・レリーフのほか、鴨池児童公園のアーチ型に開いた石造りの壁などに見ることができます。



1914 (大正3年) 桜島大正噴火

1779年(安永8年)年11月8日に発生した安永噴火で、噴火と降灰は20年ほど続き島民を苦しめました。それから110年後の1914年(大正3年)1月12日に桜島が再び大爆発。この噴火により死者58人、噴火にともなう地震で鹿児島市内でも生垣や家屋が倒壊するなどの影響がありました。大量に流れ出した溶岩により、桜島と大隅半島が陸続きになったほか、降り注いだ軽石と火山灰により農作物などにも甚大な被害を与えました。



桜島の1914年大正噴火で火山灰に覆われた鹿児島市街
NYPL Picture Collection - Illustrated London News

1935 (昭和10年) 鹿児島でラジオ放送がスタート

日本初のラジオ放送が1925年3月22日。それから10年後の1935年10月26日にNHK鹿児島放送局が開局しました。開局当時は天保山町に送信所を構えていたそうです。1925年当時、ラジオの受信機は輸入品しかなく、小さな家1件分と言われていましたが、1930年初頭には国産品も出回り、都市部で爆発的に普及し、1935年当時は小学校教員の初任給55円とほぼ同価格となりました。それでも開局当時の普及率は約10%と、1台のラジオに大勢が耳を傾けるといった風景が当時の鹿児島にも見られたそうです。



ナショナル国民安備機1号(新K1型)1934年
<http://www.japanradiomuseum.jp/indetmlより転載>

1942 (昭和17年) 右書き→左書き

現在、日本語の横書きは左から右に向かって書きますが、そもそも横書きするのは店名などを横長の看板に書くときに限られ、縦書きと同じように右から左に向けて書かれていました。(1行1文字の縦書き)。明治以降西洋文化の影響で、左から右への横書きが入ってきた事で、事態がややこしくなり、両方の書き方がございすることになりました。大正時代の新聞広告を見るとよくわかります。

昭和17年に文部省の主導で左書きへの統一が打ち出されますが、戦時中なので欧米文字の並びに揃える事に反対する意見も多く、新聞をはじめ、左書きに踏み切るところはあまりありませんでした。左書きが定着するは、やはり終戦後で、新聞社が左書きに統一した事からでした。



新しいステージへ果敢に挑む、映広グループ

株式会社 鹿児島映広
tel.099-222-4444

南日本出版 株式会社
tel.099-222-8611

株式会社 映広
tel.099-222-4446